

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月1日

事業所名 学習支援レインボー総社中央教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		個別の療育スペースの確保	
	2	職員の配置数は適切である	○			人材育成および確保
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			トイレのみ段差あり
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日のミーティングで話し合っています	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		ミーティングで把握しています	保護者評価につなげる
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPで公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後、検討事項
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		ZOOM等で研修	外部セミナー研修参加
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年ごとに実施・会議	日々のミーティングでも共有していく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		半年ごとに実施	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個人で案を出して、ミーティングで決定	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎週変化	疑似体験につなげる活動を増やしていく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		臨機応変に対応	ニーズ等を捉えて柔軟な対応が出来るようにしていく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		日々のミーティングの実施	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			翌日の朝礼にて実施しています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々支援記録に記入	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年ごとに実施・会議	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者および担当指導員の参加	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			コロナのため色々な形に変えて連携出来るようにしていく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		移行支援会議の実施	移行支援シートの活用
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		移行シートに記入	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		ZOOM等で研修	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在、外出活動を行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		自立支援協議会に参加	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の利用で実施	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		コロナのため中止
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明	入口に掲示
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			今後も保護者支援に力をいれていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナのため中止
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		担当変更等	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○		社外に持ち出し禁止している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後、検討事項	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎年、実施	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、実施	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に説明	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		提供していない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		事例集は作成していない。ミーティングで伝えている

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月1日

事業所名 学習支援レインボー玉島教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		個別の療育スペースの確保	
	2	職員の配置数は適切である	○			なるべく1対1にするよう配置しています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			2階にトイレがあるためバリアフリーは難しい
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎日ミーティングで把握しています	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPで公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後、検討事項
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		ZOOM等で研修に参加	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年ごとに実施・会議	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		半年ごとに実施	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			各自、持ち寄り検討しています
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎週変更	運動・思考・協調性等を考えて行っています
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		臨機応変に対応	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			特性に合わせて対応しています
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		日々のミーティングの実施	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			翌日の朝に実施しています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			個人記録に記入
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者および担当指導員の参加	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		移行支援会議の実施	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		移行シートに記入	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修に参加	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在、外出活動を行っていない。今後、検討事項
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		利用のたびに実施	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	ペアトレセミナーの実施	人数制限しながら年1回以上の開催をしていく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			今後も保護者支援に力をいれていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			今後、検討事項
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後、検討事項	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎年、実施	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、実施	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		同意書を取り交わし、しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		提供していない
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		事例集は作成していない。今後、検討事項	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月1日

事業所名 学習支援レインボー川入教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		個別の療育スペースの確保	
	2 職員の配置数は適切である	○			人材育成をしていく
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		勉強会の実施	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		日々のミーティングで把握しています	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPで公表している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後、検討事項
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		ZOOM等で研修に参加	外部セミナー研修
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年ごとに実施・会議	必要に応じて期間を変更
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月1回ミーティング	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		1週間ごとに変化	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		臨機応変に対応	長期連休などは課題を変更している
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		時間を分けている	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		日々のミーティングの実施	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			翌日の朝に実施しています
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		細かく行動等を記入	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月毎に実施	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者および担当指導員の参加	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		臨機応変に対応	コロナで減っていますが実施している

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		移行支援会議の実施	相談支援等から聞き取り実施
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		移行シートに記入	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修に参加	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		屋外活動はしていない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		利用のたびに実施	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		コロナのため実施していない
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に実施	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		日々の支援で実施	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナのため実施していない
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		柔軟に対応	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		3ヶ月程度に1回	
	35	個人情報に十分注意している	○		社外持ち出し禁止	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後、検討事項
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎年、実施	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、実施	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		提供していない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	朝礼にて共有	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月1日

事業所名 学習支援レインボー大島教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			移転をしたので以前より広がっている
	2 職員の配置数は適切である	○			人材育成をしていく
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			2階のため難しい 手すり等は設置しています
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		勉強会の実施	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		ミーティングで把握しています	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPで公表している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		検討事項
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			ZOOMで研修実施
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年ごとに実施・会議	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			全体でミーティングしています
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎週変更	子どもたちによりルールを変更
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		臨機応変に対応	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		特性に合わせて変更	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ミーティングの実施	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			翌日ミーティングにて実施しています
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回支援記録記入	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者および担当指導員の参加	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			学校訪問などは定期的に行っています

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在受け入れていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		移行支援会議の実施	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		移行シートに記入	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		ZOOM等で研修に参加	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナのため実施していない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		利用時に保護者に報告	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			今後も保護者支援に力をいれていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナのため実施していない
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○		社外持ち出し禁止	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後、検討事項	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			職員には周知しています
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎年、実施	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、実施	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		マニュアル等作成	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		提供していない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		事例集は作成していない。今後、検討事項

—

